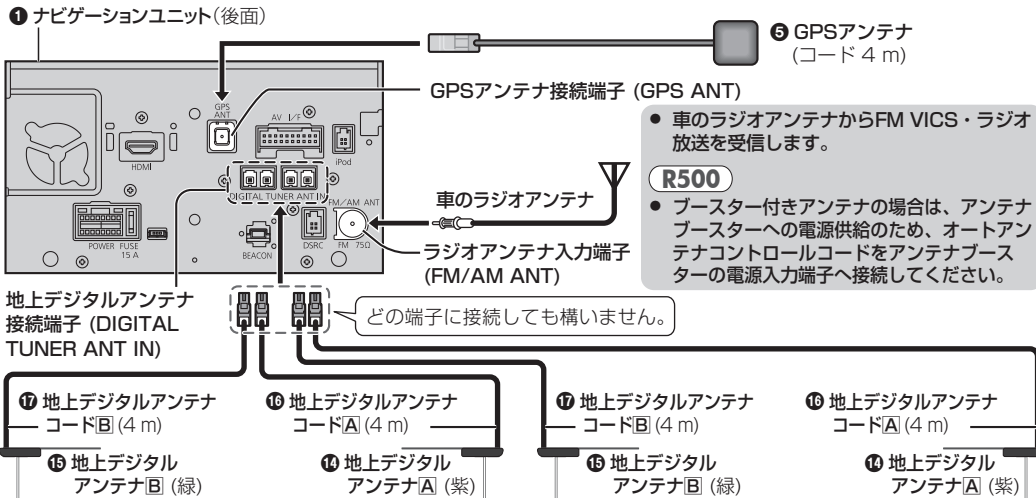


# 配線のしかた(続き)

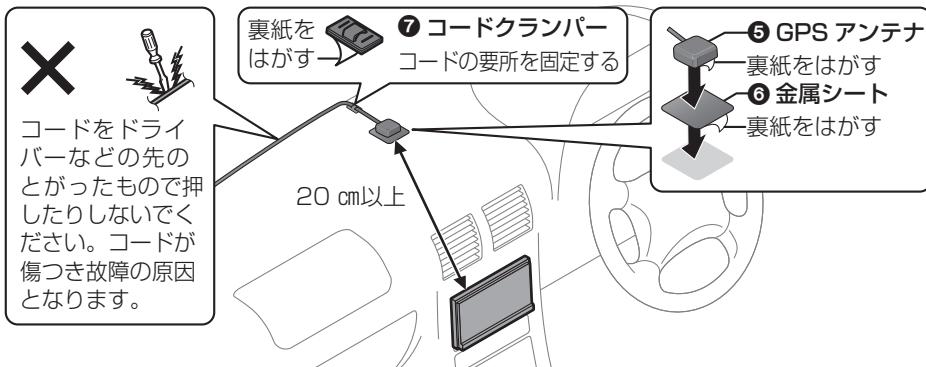
## アンテナコードの配線



# GPSアンテナの取り付けかた

## 取り付ける前に

- 設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- 妨害による受信感度低下を防ぐため、VICSビーコンユニット(別売)や他のアンテナから、15 cm以上離して取り付けてください。また、それぞれのコードは別々に(引き回しを左右別方向にするなど)配線してください。
- 必ず車室内(ダッシュボード上のガラス付近)に取り付けてください。防水構造ではありませんので、車外には取り付けしないでください。



## お願い

- 金属シートは、必ず付属の金属シートを使用し、折り曲げたり、切って小さくしないでください。自車位置が正しく表示されない場合があります。

## お知らせ

- 車体の形状や電波を通さない一部のガラスにより、電波がさえぎられることがあります。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。(→取扱説明書)

# 地上デジタルアンテナの取り付けかた

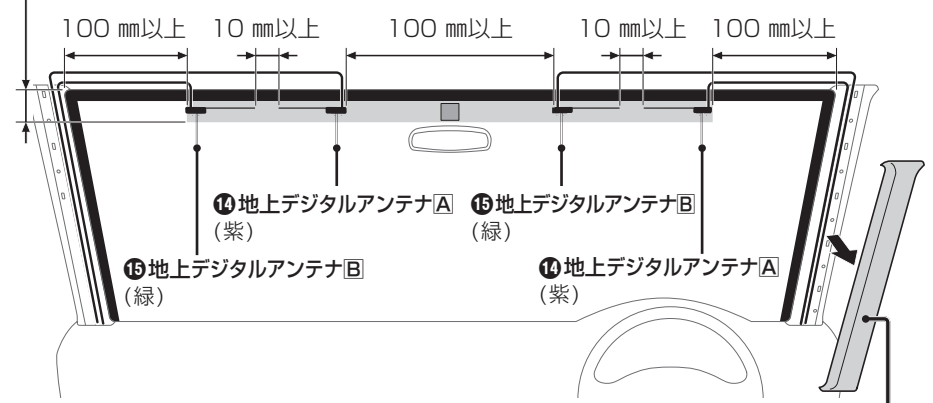
## アンテナの貼り付け位置について

- 必ず車室内(フロントガラス)に貼り付けてください。サイドガラスやリヤガラスには貼らないでください。十分な受信状態が得られません。
- 性能を十分に発揮するために、必ず指定の位置に、正しい向きで貼り付けてください。指定の位置や寸法内に取り付けられない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 国土交通省の定める保安基準\*1に適合させるため、アンテナの給電部およびコードの端子は、必ず取付許容範囲内(下図の■部)に貼り付けてください。

\*1 道路運送車両の保安基準第29条(窓ガラス)、細目告示第39条および別添37

## 取付許容範囲: ■部

アンテナの給電部をフロントガラスの上端から25 mm以内に貼り付けてください。セラミックライン(黒い線)の上にも貼り付けられます。



## ピラーのカバーを取り外す

- ピラーのカバーの取り外しかたは、車種によって異なります。
- 配線後、もとに戻してください。
- ピラーにエアバッグが装備されている場合は、取り付けできません。

車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

- × 下記のような貼り付けは、絶対にしないでください。
- 国土交通省の定める保安基準に適合しない場合があります。
  - アンテナの性能を十分に発揮できません。

アンテナの  
A/Bを逆に貼らない  
点検シールなどに  
重ねて貼らない  
重なった位置に  
貼らない  
アンテナの給電部および  
コードの端子は取付許容  
範囲外に貼らない

